

馬詰研究奨励賞海外研修等実施報告書

令和 4 年 12 月 8 日

工 学 研 究 科 長 殿

所 属： 材料工学 専攻
課 程： 博士後期課程 3 回生
氏 名： 三浦 隆太郎

研修の目的	電析による材料プロセスに関する研究の遂行と発展のために電気化学に詳しい有識者との意見交換、および、国際研究交流		
研修の期間	2022/11/01~2022/11/27		
研修の実施先	日程	滞在地	研修実施機関名等（指導教員名）
	2022/11/01 ~2022/11/27	ベルギー、ルー ヴァン・ラ・ヌ ーヴ	Université catholique de Louvain(ルーヴァン・カトリック 大学), (Joris Proost)
研修の概要	訪問先の研究室では、私の研究について発表し、議論する場を複数作っていただいた。さまざまな分野の研究をしている方々と、議論をした。また、訪問先のグループでおこなっている研究についても議論を交わした。簡単な実験などにも参加した。英語で議論・生活することで英語力の向上もねらった。		
研修の成果等	私の研究発表では、電気化学を基礎にもつ、さまざまな分野の研究をしている方々と、活発な議論ができた。いくつか有意義なフィードバックや新たな発見を得た。また、訪問先のグループでおこなっている研究についても紹介をいただき、議論を交わし、電気化学をもちいた材料プロセスングについての新たな知見を得た。今後の自身の研究にも活かせる体験をした。英語でのコミュニケーションも向上したと感じる。		
そ の 他 ※本海外研修経験に よる将来の抱負等	初の海外渡航・生活で、日本語が通じず文化も異なる場での経験は全てが新しく感じ、とても興味深く、楽しいものだった。欧州における、国境のシームレスさを感じ、研究を発展させるには、日本国内だけでなく国際的な協力関係の必要性も感じた。英語力をもっと向上させ、また機会があれば欧米での研究活動を行いたい。		